

皆さんからの情報をお待ちしています

アートで地域交流 「工房てんとう虫」

NPO法人アートで明るく生きるかわさき



障害のある人たちのアートを「可能性の芸術」としてとらえ、芸術と社会の新しいコミュニティを築いていく市民芸術運動「エイブル・アート」。このエイブル・アートに共鳴して取り組んでいるのが、「NPO法人アートで明るく生きるかわさき」(葛西秋夫理事長が運営する、「工房てんとう虫」)です。

者が応援する形で『工房てんとう虫』が生まれた」と同工房の須藤静江所長が説明します。平成14年8月、精神障がい者家族会「かわさき虹の会」が、障害者小規模作業所として「工房てんとう虫」を発足。17年2月、障害者の自立と社会参加の促進を目指すNPO法人が設立され、同年4月に地域活動支援センターとして「工房てんとう虫」を引き継ぎました。

「あがるく生きる」と書いたことから、みんなでスローガンにしていこうとなったものです。現在12人の利用者が通う同工房は、絵画、遊書などのアートの製作に加え、正月飾り、手すきがきなどのオリジナル商品を製作・販売。イベント時はコーヒーストップを出店し、製品を陳列して、地域と積極的に交流しています。最近では、掃除や草取り、会議の給茶業務などを受託し、地域での社会参加を目指した活動も行っています。



ボランティアから寄付された端切れ布で丹念に布草履を編む工房利用者。草履はオリジナル商品として販売されます

法人名の「明るく生きる」は、利用者の一人、鈴木アキ子さんの作品にちなんだもの。習字の「明るく生きる」を見た鈴木さんが、独特の語り口でタイトルをつける名人ぶりを發揮して

MEMO 活動メモ

- 活動日…月曜～金曜
- 活動場所…工房てんとう虫(川崎町薄衣字諏訪前)
- 連絡先…同工房 ☎43-4733

「皆さんにもっと工房の作品を見てもらい、多くの人たちと交流していきたい」と抱負を語る須藤所長です。

ふれ-ふれ-クラブ



一 関東中学校野球部

一 関東中学校野球部は、3年生8人、2年生11人、1年生12人、合計31人で毎日練習を頑張っています。

一 関東中学校は今年開校したばかりですが、昨年の新人戦から野球部は合同で練習してきたので、すでに団結し、まとまりがあるチームです。

今年、二人の投手を中心として、粘りのあるチームです。守備は、まだ安定していませんが、中総体には鉄壁の守りを誇れるようになり、中総体では、優勝目指して頑張ります。

文・部長の菅原雅樹君(3年)

笑顔で GOOD



仕事の励みは皆さんの笑顔

佐藤あゆ未さん(大東)

今春、地元高校の総合学科を卒業後、地元への就職を希望し特別養護老人ホームやまぶき荘に勤務するあゆ未さん。社会福祉関係の仕事を目指したきっかけは、中学3年の時、友人が転校した新潟で災害(新潟中越沖地震)が起き、何か役に立てることがないかと募金を始めたことです。

職場では現在、シヨートステイ(短期入所)利用者の生活全般を担当。「入所者や利用者の笑顔が仕事の励みになります」とほほ笑みます。

休日は友達とのドライブなどを楽しみ、最近は石巻方面へ海を見に行ったりと、活動的なあゆ未さん。「大東町は緑が多く、四季を肌で感じ住みやすいところ」と故郷への思いを語ってくれました。

うちのこ自慢!

ぼっぼ(雑種のメス)

ちょっぴりメタボ気味なわたし。暖かくなってきたから、朝晩のお散歩でダイエットしなきゃ。

吉田正次さん方(東山)

かわいいペット大募集!

①写真(デジカメ画像可)②名前③種類とメスオス④応募者の住所・氏名・電話番号⑤40字程度のコメントを明記して市役所秘書広報課(メール可)まで。

キッズ写真館

1歳から4歳ぐらゐまで子どもたちを募集!

①写真(2カ月以内に撮影したもの・デジカメ画像も可)②氏名(ふりがな)③生年月日④住所⑤電話番号⑥父母氏名⑦30字程度でお子さんへのメッセージーを明記して市役所秘書広報課 ☎021-8501(住所不要) または hishokoho@city.ichinoseki.iwate.jp まで。(毎月先着3人)

佐藤有純ちゃん(花泉)
19年12月4日生まれ
パパ博幸さん/ママ史恵さん
「こころ豊かな優しい子に!」

佐藤ひなたちゃん(花泉)
17年1月25日生まれ
パパ博幸さん/ママ理恵さん
「人が集まるような、優しい元気な女の子になってね」

余目琴葉ちゃん(左)
15年4月7日生まれ
余目陽心ちゃん(一関)
19年11月15日生まれ
パパ智明さん/ママ宏美さん
「思いやりのある姉妹に育ててね」